

(様式第1号)

令和元年5月26日

議会報告・意見交換会報告書

天童市議会議長 赤塚 幸一郎 様

代表者 伊藤 和子  
記録者 水戸 芳美  
班員 結城 義巳  
〃 遠藤 敬知  
〃 熊澤 光吏



議会報告・意見交換会を開催したので、その概要を下記のとおり、報告します。

記

1 日 時	令和元年5月22日（水）午後7時～午後8時30分	
2 会 場	市立寺津公民館	
3 欠 席 議 員	なし	
4 参 加 者 数	5人（男性5人）	
5 報 告 内 容	<p>＜結城義巳議員＞</p> <ul style="list-style-type: none"><li>平成30年度12月定例会、平成31年3月度の、提出された議案との結果の説明。</li><li>議会だよりNo163（2月1日発行）、No164（5月1日発行）を基に、審議した内容等議会活動の内容などの説明。</li><li>寺津地区で、前回出された意見に対する議会での調査結果についての説明。</li></ul>	
6 意 見 ・ 要 望 等	市 民	議 員
	1 寺津の子どもが少ない。住宅団地の計画があるがどうなっているのか。	平成30年度の予算で、寺津地区は、寺津小学校南側、津山地区は、市立津山公民館の北側と日産天童店北側の倉津川左岸を調査を実施した。その結果、寺津は、地盤が軟弱で遺跡が出たということと、津山も遺跡が出たという報告受けた。造成して土地を売り出す時には、造成費と遺跡調査費をプラスして、土地の単価になる。山口地区のなでしこ団地の場合、土地の単価が、平均で

		6万円/坪で、マックス30%が市の補助率だった。このぐらいの値段で販売するとなると、地盤の軟弱対策と遺跡調査費も含むので市の補助負担がだいぶ増えると思う。今後のことば、議会として伺っていない。
2	今の話で、やるか、やらないかは、いつ頃になるのか。  6月頃に、地元に説明するような話を聞いた。	それも、今の所、報告を受けていないので分からぬ。
3	議会の様子をネットで見ていく。議会のIT化電子化をどのような考え方を持っているのか。議長の隣にあるモニターなどで資料などを示せると良いと思う。	昨年度から、ICT委員会を立ち上げ検討している。近隣市町でも、米沢、寒河江、東根あたりが紙を使用しないでタブレット化なっている。9月に市議会改選なのでその後に導入できるよう進めている。国会の様に資料を示しながらの質問等まではいっていない。
4	山形市に勤めている。他の市町村から比べると、ごみ袋の値段が高い。同じ販売所で山形市と天童市のごみ袋を売っているが同じような大きさで値段がどうして倍もするのか。山形市は、安売りもする。取決めなどどうやっているのか。	なかなか難しい。天童市だけで決められる問題ではない。三市一町でやっており施設が東根市にあり、東根市の意向が強い。  以前ごみの収集は無料だった。掛かった経費を、東根、天童、村山、河北の4市町で按分して経費負担をしている。指定ごみ袋を導入する時は、有料でないということでかなり強引に導入された。その当時天童市のごみの処理量が多く、有料化されて指定ごみ袋の料金は、天童市で売った分は経費から引かれる。40円から50円に上がり、上った分だ

		けごみ処理料は抑えられているのが現状である。天童市の処理料は延びていない状況である。
		天童市のごみ袋は、証紙なので安売りは出来ない。山形市は、有料でないので、袋代の料金だけになっている。
5	山形市は、剪定した木もまるつて置いてもそのまま持って行く。中山町も山形市なので持って行く。寺津と中山町は、100mぐらいしか離れていないのに天童市は持って行かない。この差は何だろう。天童市に来る人がいなくなるのではないか。	たしかに、そういう声は有る。
6	参加者が少ないのでビックリしている。高齢者の交通事故が増えている。高齢者の免許返納の件について、返納した場合はどの程度のメリットがあるのか、議会で検討、話し合いをしているのか。山交バスで運転されている方が自宅に来た時に話をしていたのが、天童市で寺津が一番不便だと言っていた。	免許返納の件は、2万円程度のタクシー券かデマンドタクシー券を免許返納した人に差し上げている。返納は年間で200位ある。2万円の券は、1年間しか使用できなかつたが、2年間使用できるよう制度を変えてもらった。この地域だと、返納してしまうと動けないと思う。大変な状況はどこでもある。一番は、誰でも乗れる移動できる交通網が必要だということは、議会でも話題になっている。
7	その人は、上山市が担当で上山市は山奥の1人まで交通の便が良いと言っていた。寺津にデマンドタクシーでなく、普通のバスを利用出来る方法を考えてもらえるか。	デマンドタクシーが中々使い勝手悪いので、使い勝手の良いようなものがないか、環境福祉常任委員会で東京の町田市に視察に行って来た。いろんなやり方があるのでその改善に頑張っていく。寺津地区も以

	<p>前市民バスが回っていた。年間 15,000 人程利用していた。今は、停留所型の地域型バスと区域型バスになってからは利用者が減った。寺津も路線型でやっていたが利用が少なかった。それだけ便利が悪かった。それで昨年から寺津も区域型になって自宅の前から出られるようになったので利用者がもう少し増えてほしいので利便性を加えて誰でも利用できるようなバスにしないと何の意味もないと思っている。登録者は 1,000 人を超えたが実利用者は 300 人程度である。300 人に 2500 万円掛けているがこれで良いのかということもある。利用するのに電話しないと駄目なのがネックになっている。</p>
8 高搣駅まで、爺ちゃんばあちゃんが送り迎えしている人が寺津地区は多い。天気が良いと高搣駅まで自転車で行くけれども、雨が降ると駅前に車が多く停まっている。	一つ聞きたいのが、高校に通う時駅まで自転車で行っていると思うが、聞く所によれば、爺ちゃんばあちゃんが送り迎えしている方がいる。子ども達の足も絶たれていることもあるので考えなくてはならないと思っている。子どもの送迎はどの様にしているか。
9 農道から市道への格上げの件ですが、31年度で完成予定であるが計画通り進んでいない。議会も通って予算もついているはずだが、実行できないのはどういうことなのか。	農道の拡幅の件だが、地権者から大将軍がいるからと聞いた。

	<p>10 4月の人事異動で建設課の担当者が変わったので遅れているという話だった。5月連休明けから始めると言っていたがなかなか進まない。</p>	用地交渉の過程で、計画年次が1年ずれてしまった。
	<p>11 ドモスの運行改訂や登録しなくてはならないことすら分かっていないと思う。</p>	<p>先ほどのデマンドタクシーの件ですが、当初から山口・田麦野地区が区域乗合型で、家から目的地というシステムで行っているが、寺津地区は停留所から停留所までの定路線型から、自宅から目的地の区域乗合型に代わった。地域の方がドモスのシステム変更が分かっているのか伺いたい。</p> <p>昨年の今頃に各地区ごとに説明に回っている。また老人クラブとかいきいきサロンなどで集まった人には説明している。区域乗合型のドモスがあることを地域方に教えてほしい。</p>
	<p>12 スマートインターチェンジ設置事業ですが、平成29年度から行われている事業で3年間かけて基本設計に4千万円近くお金を使うようだがどういうことか。またどこにつくろうとしているのか。</p>	<p>高齢の免許センター近くに造ろうとしている。</p> <p>地質調査から測量関係も含め様々掛かる。スマートインターチェンジの設置だけで30億円くらい掛かる。国からも出来るだけ少なくと指導されている。27・28億円掛かったとしたら市の負担が1割、周辺整備は市独自で進めなくてはならない。完成したら高齢だけでなく天童市全体、周辺自治体にも波及効果が生まれる。</p>

	13 スマートインターチェンジ設置だけなのか。パーキングエリアとか造らないのか。	国では、スマートインターチェンジだけの設置では許可しない。スマートインターチェンジを造つて何をするのかを提示しなければならない。工業団地の集積だけでなく、賑いの施設を作つて人が集まるようにしなければならない。免許センターに置賜・庄内・最上から 20 万人の人が訪れるが金を落とす施設がない。
	14 パーキングエリアを造ろうとすると山形と上山の間に出来た。なおかつ天童に造つて人を集めるということがほんとうに有効なのか疑問である。	天童市は、東北中央道の有料区間の北のはずれで素通りになることが懸念される。このスマートインターチェンジは、観光地山寺に最も近いインターで、市内周遊への拠点となり、活性化への重要事業である。
7 所 感	参加者は 5 人と少なかったが、議員の考え方や話を聞けて良かったという人もいて、地域の課題を集中的に意見交換でき良かったと思う。	